児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和4 年 12 月 28 日 事業所名: ちゃぼとひよこ延喜

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

		チェック項目				事業所の現状評価				保	護者の方の評価	評価を踏まえた 改善内容・改善目標
区	分		はい	どちらと もいえな い	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらと もいえな い	いいえ	わから ない	保護者の方のご意見	
	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十 分な確保	9	4			45			1	・広い園庭もあり満足 ・教室での様子を見たことがない ・園庭も広く活動しやすそう	・今後検討していきたいと思います。
環境	2	職員の適切な配置	8	6		・運転専任を配置した。	37	1		7		
· 体制整	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情 報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に 応じた設備整備	14			・視覚的援助の為の絵カード導入 ・jクールダウンが必要な場合は、落 ち着ける場所を作っている。	40	2		4		
備	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	13	1		・その日の気温に応じて、子どもたちが気持ちよく過ごせるように室内温度に気をつけている ・適度な空気の入れ換えを心がけている。 ・利用者が使う物特に、消毒などおこない、衛生面にも配慮為できた。	45			1		
	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)への職員の積極的な参画	12	2		・ミーティング時に、担当者会や知り 得た情報を共有している。	/					
業務改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の 実施	8	1	3	・第三者の評価を元に、業務改善を 今後も行って行きたいと思います。	/					
1	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確 保	12	2		・事業所内で研修を行ったり、講師を 招いて研修を行っている。	/					
適切	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上での児童 発達支援計画又は放課後等デイサービス計画 の作成	12	2								
な支援の	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス 計画における子どもの支援に必要な項目の設 定及び具体的な支援内容の記載	12	1		・担当者会や保護者との話の中で要望やニーズを聞き、計画書を作成している。	42	4				
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後 等デイサービス計画の作成	13	1		・個別や集団活動などを組み合わせ て活動している。						

		チェック項目				事業所の現状評価					護者の方の評価	評価を踏まえた 改善内容・改善目標
	分		はい	どちらと もいえな い	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらと もいえな い	いいえ	わから ない	保護者の方のご意見	
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス 計画に沿った適切な支援の実施	12	2		・モニタリングや支援会議・相談等の 内容を職員間で共有し支援してい る。	43	3				
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	13	1		・年間で大まかな計画表を作り、それに基づいて活動を担当ごとに決め、チーム全員が把握し活動出来るようにしている。						
適切な	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実 施	14			・基本は崩さず、活動内容がマンネリ 化しないようにいろいろなアイデを出 し合いながら話し合って活動内容を 決めている。	43	2		1	・色々なイベントが行われていて、子どももすごく楽しそう・毎日違った活動内容で子どもも楽しみにしています	・今後も活動内容が固定化しないように、職員と話し合いながら、子ども達が楽しんで活動に参加出来るように取り組んで行きたいと思います。
な支援の	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	11	3		・年間活動内容に支援を行ってい る。基づき						
提供(続き	8	支援開始前における職員間でその日の支援内 容や役割分担についての確認の徹底	11	3		・開始前に内容などの話し合いを行い、その日の内容など確認している。また、児童発達・放デイとも共有を行っている。			/			
	9	支援終了後における職員間でその日行われた 支援の振り返りと気付いた点などの情報の共 有化	14			・終了後に話し合いを行っているが、 その日に出来ないときは、翌日行っ ている。						
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、 支援の検証・改善の継続実施	14			・日誌等に記録を残し、休みの職員 もその日の事がはアックで知るよう に為ています。						
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直 し	12	2		・担当者からの連絡等などで、定期 的にモニタリング実施						
関係機	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議への参画	14			・担当者が様子をまとめ。職員間で話し合いをし、共通認識を持って参加している。						
関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の 関係機関と連携した支援の実施										

_	Λ.					事業所の現状評価					護者の方の評価	評価を踏まえた
区	分	チェック項目	はい	どちらと もいえな い	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらと もいえな い	いいえ	わから ない	保護者の方のご意見	改善内容·改善目標
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備					/					
関.		児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	14			・幼稚園など連携して支援を行っている。 ・幼稚園等から小学校へあがる時にケース会等を行って情報提供を行っている。 ・相談員を通してケース会を持てるよう働き掛けている。						
係機関との	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移 行支援のため、それまでの支援内容等につい ての十分な情報提供	14			・必要に応じて、情報提供を行っている。	/					
連携(続き	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	14			・発達支援センターを連携をとりながら子どもの支援を行っている。	/					
)		児童発達支援の場合の保育所や認定こども 園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサー ビスの場合の放課後児童クラブや児童館との 交流など、障がいのない子どもと活動する機会 の提供	14			・コロナもあり、今年は少なかったが、併設されている認定こども園の行事に参加したり、放課後児童クラブと一緒に遊んだりしています。	30	7	1	8	・他の子どもと交流したいと思わない のでなくてよい ・しまなみの杜と連携されている	・併設されている認定こども園の行事に参加したり、放課後児童クラブと一緒に遊んだりしていますが、今はコロナ化で一緒に活動する機会が減ってきつつありますが、交流機会をなくさないように今後も
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域 に開かれた事業の運営	6	4	3	・今後検討していきたい。	//					
保護者への	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な 説明	14			・直接伝えたり、資料などでお知らせ をしている。	39	5	2		・されました	・今後も引き続き、丁寧に伝える事を 怠らないようにしたいと思います。
) 説明責任 ・	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス 計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	12									
連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対するペアレント・トレーニング等の支援の 実施	8	6		・今後検討していきたい。	28	9	3	6		

	Λ.					事業所の現状評価				保	護者の方の評価	評価を踏まえた 改善内容・改善目標
区	分	チェック項目	はい	どちらと もいえな い	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらと もいえな い	いいえ	わから ない	保護者の方のご意見	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃か ら保護者との共通理解の徹底	13	1		・連絡ノートや送迎時に様子を伝えたり、課程での様子を聞いたりしている。必要に応じて、事業所内での相談を行っている。	44	2			・電話で伝えてくれます	・今後も保護者の方と連携をを図っ ていきたいと思います。
保	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談へ の適切な対応と必要な助言の実施	13	1		・連絡ノートや送迎時に様子を伝えたり、課程での様子を聞いたりしている。必要に応じて、事業所内での相談を行っている。	36	6	3	1		
護者への説	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催に よる保護者同士の連携支援	7	4	3	・今後検討していきたい。	19	11	6	10		・なかなか保護者が集まれる環境を 作ることができなかったが、状況を見 て開催できるように検討していく。
明責任・連携	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	12	2		・その都度、報告し、連絡をとったりし て対応している。	36	4		6		・何かあった時は、必ず全員が把握し、同じ事を繰り返さないようきをつけていく。
携支援(続	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮	14			・連絡帳を使ってその日の様子を伝えたり、文字だけでは伝わりにくいので、写真などを使って、月ごとに様子を知らせている。	42	3		1	・ノートや電話で対応してくれます	・引き続き、子どもや保護者の方と意思疎通を行い、情報の伝達を怠らないようにしていきたいと思います。
·き)	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報についての子どもや保 護者への発信	14			・毎月の行事予定や活動の様子など をまとめて発行している。	41	4		1	・プリントやLINEで知らせてくれます	・引き続き行っていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	14			・職員においては、入社時に個人情報取り扱いに関する誓約書を、保護者とは、個人情報の使用に関する同意書及び契約書にて説明し、同意を頂いている。	44	2				・今後も個人情報の取り扱いには十分配慮していく。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	14			・職員に感染症マニュアルを配布したり、必要に応じて、保護者の方にも配布をした。	38	4		4		
ずの対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救 出その他必要な訓練の実施	14			・毎月避難訓練を行っている。	35	2	1	8	・月ごとにいろいろな想定で訓練され ている	・今後も引き続き、色々な場面を想定して、避難訓練を行って行きたいと思います。

		チェック項目				事業所の現状評価					護者の方の評価	評価を踏まえた
区	分			どちらと もいえな い	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらと もいえな い	こいいえ	わから ない	保護者の方のご意見	改善内容•改善目標
非	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等 の適切な対応	14			・虐待についての研修を、外部から講師に来ていただいた。						
常時等の対	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織 的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に 説明・了解を得た上での児童発達支援計画又 は放課後等デイサービス計画への記載	6	4	1							
応(続き	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の 指示書に基づく適切な対応	14			・アレルギー診断書を提出してもら い、除去食を提供している。						
)	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での 共有の徹底	12	2		・ヒヤリハットが出た後の話し合いを したら次の対策につながる。						
満足	1	子どもは通所を楽しみにしているか					45	1			・通所をとても楽しみにしています・大好きだそうです	
度	2	事業所の支援に満足しているか			/		46				・先生方が皆さんいつも笑顔で子ど も達に接してくれている ・満足しています	